

琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者):
琵琶湖疏水記念館(京都市上下水道局)
文化観光推進事業者:
琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会
京都岡崎魅力づくり推進協議会

計画期間

2020年度～2024年度(5年間)

目標

- 琵琶湖疏水記念館来館者満足度の向上
(日本人) 2020年度 55%→2024年度 75% (+20%)
(外国人) 2020年度 50%→2024年度 70% (+20%)
- 日本人来館者数の増加
2019年度 129千人→2024年度 150千人(1.2倍)
※10年後(2029年度)には260千人(2倍)
- 外国人来館者数の増加
2019年度 9千人→2020年度 0.4千人(コロナ影響)
→2024年度 7.5千人
※10年後(2029年度)には18千人(2倍)

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>
 - ・疏水噴水及び蹴上インクラインのライトアップ等による夜観光スポット化
- <2.文化についての理解促進>
 - ・多言語デジタル対応, 琵琶湖疏水沿線のフィールドツアーの開催
- <3.文化観光に関する利便の増進>
 - ・キャッシュレス決済, 館内Wi-Fi等の整備, レンタサイクルポート設置
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
 - ・より来館者のニーズが高いオリジナルグッズの製作, 販売
- <5.国内外への宣伝>
 - ・集客イベント(ビールフェスティバル等)の開催, 市内集客施設連携
- <6.施設又は設備の整備>
 - ・屋外テラスのウッドデッキ化

文化クラスター推進事業費(5年間の計画ベース)

330百万円(うち、補助金220百万円)

計画区域

琵琶湖疏水沿線
(日本遺産)

蹴上エリア

南禅寺水路閣

(国指定史跡
国重要文化的景観
日本遺産)

蹴上インクライン

(国指定史跡
国重要文化的景観
日本遺産)

<京都市>

琵琶湖疏水記念館

(琵琶湖疏水建設等に関する所蔵資料(日本遺産)
ペルトン水車
蹴上インクラインドラム工場等)

キッチンカー

ショップ

旧御所水道ポンプ室

(国重要文化的景観
日本遺産)

岡崎エリア

京都市京セラ美術館ほか

京都水族館

中核文化観光拠点施設

(主要な文化資源)

主要な文化資源

(文化財等の種類)

飲食施設

販売施設

宿泊施設

その他施設